

〇〇ビール 企業広告 長尺ドラマ型CM

たつた一滴の乾杯

(4、5分)

脚本 大岡俊彦

登場人物

カナコ (28)

父 (55)

母 (55)

社員。

大の酒好きだった。

○東京の会社内、オフィス

ケータイで電話してるカナコ(28)。
カナコ「倒れたって？ お父さんが！？ 病院どこ？ …手術するの！？」

○一両の電車が走るような田園風景

○田舎、病室

カナコ、土産のまんじゅうを持って病室へ入ってくる。

ベッドには、チューブに繋がれた父(55)が弱々しく笑う。

父 「…やあ」

カナコ「…思ったより、元気じゃない」

母(55)が土産を受け取る。

父 「もう酒はやめるよ。…死にかけてたよ」
カナコNA『大酒飲みだった父が、体を壊した。この日から、すっかり甘党になった』
まんじゅうをほおぼる父。
父 「うまいなあ。うまいなあ」

○(時間あいて)正月、実家

団欒する父、母、カナコ。

父は色んなまんじゅうをほおぼりながら。

父 「お前そろそろ結婚の話とかないのか」

カナコ「それ以前の問題です。相手探しが先です」

父 「こないだの彼氏は？」

カナコ「別れたって言ったでしょ」

父 「お前の結婚式に出るのが、父さんの昔からの夢なんだよ。叶えさせておくれよ。お土産のまんじゅうで糖尿になっちまうよ」

カナコ(母に)そんなに甘いものばっか食べてるの？」

母 「だいぶ太ったでしょ」

○一両電車の田園風景（時間経過）

カナコ「NA『十年、それから私は父をまんじゅう漬けにした親不孝者で、それでも結婚できる日がやってきた』」

○結婚式場、打ち合わせ室

実家の母とケータイで。

カナコ「どういうこと？」

母「ぜんぜん分からないのよ。近所の人
が何人も見てるの。お父さんがこっそり病
院に通ってるって。甘いものも突然辞めち
やうし、何かの病気を隠してるのかしら」
カナコ「：落ち着いて、考えすぎよ。式には
二人とも来れるんだよね？」

○式の前日、夜、式場

カナコ「お父さん、まんじゅう食べないの？」

父「テーブルの上のまんじゅうを無視する
父。」

父「実は、話がある」

かばんから、検査結果を出す。

どきりとするカナコ、母。

父「一滴だけ、飲んでいいって、医者に
許可をとってきた」

カナコ「は？」

母「何を？」

父「酒だよ。すごい濃い奴にしたいけ
ど、医者のヤロウ、ビールにして下さいだ
とよ。だから俺はビールを飲むぞ。たった
一滴のビールを飲むんだ」

カナコ「何を言ってるのよお父さん」

父「俺の夢は、お前の結婚式で酒を飲む
ことだったんだ！ 数値は大丈夫だろ！
本当は、まんじゅうなんて大ッ嫌いだった
んだ！」

テーブルの上のまんじゅうをひっくり

返す。
カナコ、母「：」

○式当日

カナコN A『こうして、父専用の小さな盃が
用意された。ていうか、父が持参した』
司会「では皆さん、グラスを満たしましよ
う！」

カナコN A『ざわざわとした騒音の中。その
ちいさな一言を、私は聞き逃さなかった』
父「かんぱい」

父は、ほんとうに嬉しそうに。

その姿を見て涙が出てくるカナコ。

カナコ「：乾杯」

コピー「人生はビールだ。
苦くて、うまい。」

○C I (企業スローガン)

○○